



ネイチャーポジティブ宣言を行いました

生物多様性を守り、自然と共生する社会を目指し、大台町は『ネイチャーポジティブ宣言』を行いました。

1. 宣言の趣旨

大台町は「大台ヶ原・大峯山・大杉谷 ユネスコエコパーク」に認定された、清流宮川と豊かな森に抱かれた水源地です。気候変動や生物多様性の危機が深刻化する中、このかけがえのない自然と、育まれた暮らしや文化を未来へ引き継ぐ責務があります。自然への負荷を減らすだけでなく、自然を回復させ、より豊かな状態へと導く「ネイチャーポジティブ」の考え方で、自然と人が共に豊かに暮らす地域づくりを推進するため、ここに宣言しました。

2. 宣言の内容

別紙宣言文のとおり

3. 宣言日

令和8年6月1日

4. その他・特記事項

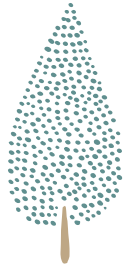
宣言式等を行う予定はありません。

5. 連絡先

戦略企画課

担当者 : 主査 森 菜津穂

電話番号 : 0598-82-3782



大台町

ネイチャーポジティブ宣言



三重県大台町は、「大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパーク」の町として、日本有数の清流・宮川と豊かな森に抱かれた水源地のまちです。

私たちは、このかけがえのない自然と、そこで育まれてきた暮らしや文化を、未来の世代に引き継ぐ責任があります。

気候変動や生物多様性の危機が深まるなか、大台町は、自然への負荷を減らすだけでなく、自然を回復し、より豊かな状態へと導く「ネイチャーポジティブ」の考え方に立ち、次のことを進めることを宣言します。

1. 宮川流域と森・里山を守り育てることで、水源地としての役割を果たします。
2. 豊かな自然環境を持続可能な形で活用した、林業・農業・観光などの産業を推進します。
3. ユネスコエコパークの理念を生かした地域づくりを進めます。
4. 子どもたちの自然体験や学びを大切に、次の世代の担い手を育てます。

大台町は、ユネスコエコパークのまちとして、自然と人が共に豊かに暮らすネイチャーポジティブな地域づくりを、ここに宣言します。

令和8年6月1日

大台町長 上瀬 裕美

